



第 164 号  
平成 28 年  
4 月 1 日発行

新年度飛躍に向けて

会長 高橋 光男

新しい年度（平成 28 年度）がスタートします。会員の皆様いかがお過ごしですか。

作品展も盛況に終わり、次回作品展に向けて、構想を練り始めるころですね。会員の皆様が大いに各活動に参加され、交流を通じて、情報交換をして、今まで以上の力作発表及び陶芸の楽しみを倍増できるように役員と構想計画の実施をしていく所存ですので、独自でお持ち、または仕入れられた知識の作陶技法等を会員の方々に披露していただけないでしょうか。

何卒会員の皆様ご協力の程よろしくお願いたします。  
会員の皆様のご健勝と一層の作陶活動を期待いたします。



「三十七回作品展」の報告

事業部

会員皆様方のご協力ももちまして「第三十七回作品展」も無事、終了することができました。

今年度の入場者数は、昨年より百十三名も増え、八百六十八名でした。特に土、日曜日は大盛況でした。

たくさんの方々に作品をみていただくのは会員の皆様にとっても大きな励みになり、嬉しいですね。

出展者数は、五名も減ってしまいましたが出展点数は、昨年より、百七点増えてなんと四百七十三点でした。今年度も会場いっぱい展示することができました。

会場は今年度も「かなつくホール」でしたので、交通機関を利用しての搬出入の人が多数でした。又、慣れた場所ですので、展示準備もスムーズに行うことができました。

今年度の作品展示の順番は、昨年度の反省をふまえ（進行・会計・作品展示位置確認

者）を優先させて

いただきました

が、大きな

混乱もなくスム

ーズに行

うことができ、今

後もこの

方向で行

いたいと思

います

又、搬

出も、昨

年の反省

をふま

え、声を

掛け合い

ながら、



事故もな

く終える

ことがで

きました。

今年度も会員皆様のご協力で無事作品展を行うことができました。

来年度も会員皆様方のすばらしい作品が、たくさん出展されることを期待しております。

【事業報告】

会 期 平成 28 年 1 月 12 日(火)～17 日(日)  
会 場 かなつくホール 3 階ギャラリー A

入場者数 868 名

出展者数 35 名

出展数 473 点

懇親会参加者数 20 名 (kubota 食堂)

今年度も当番表を作成後、当番の足りない日がありましたので、作品出展者全員にお願いしました。

多少大変な日もありましたが、無事に行うことができました。ご協力、ありがとうございました。

会員皆様の「作品展」です。来年度もぜひ、出展された方は、半日でもよろしいのでお手伝いをお願いいたします。

今年度の責任者も含めた当番人数

12 日(火)	(9 人)	13 日(水)	(5 人)
14 日(木)	(5 人)	15 日(金)	(5 人)
17 日(土)	(9 人)	18 日(日)	(11 人)

○出展料は「友の会」への賛助金です。

作品は並べば良いというものではありません。ゆとりを持って展示できるように区画を申し込んでください。

○作品の申し込み期日を守ってください。当日、机を増やしたり、混乱しますので、ご協力をおねがいいたします。



会場風景

今年の作品展では  
一寸気になる作品の作者にインタビュー  
をし、それぞれの質問に応じて  
いただきました。

吉川：「土の取り違えから生まれた風車、当初の予定はビールジョッキでした。作陶していくうちに大きくなり過ぎ、ジョッキにならずと判断、以前より興味があった風車へと変身しました。」

大人と一緒に作品展に来た子供さんがいて、居合わせたドンさんと風車を回して遊んだ・・・という話もお聞きました。・・・楽しい作品ですね・・・

広報質問：

「素敵な風車ですが、風車を作ってみようと思われた動機は何ですか？旅行の思い出ですか？」



吉川勝さんと風車

広報質問：「ぐい呑みから大皿に移った心境の変化・きっかけは？」



鈴木 貴久さん

鈴木：「近々、大皿をひく腕力が無くなりそうなので、今のうちに余力のあるうちに！と思いました。」

広報質問：「このエネルギーッシュな作品をどんな思いでつくられましたか？」

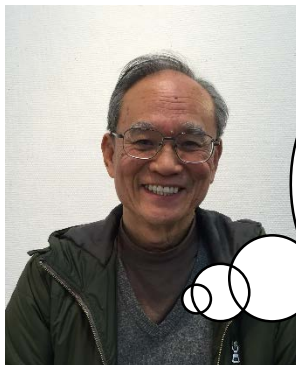
この作品は「ゴロン」と名付けられ、第 45 回全陶展で新人賞をいただきました。



中野 正好さんと「ゴロン」

中野：「道端や宇宙にひっそりとたたずんでいる石・彗星をイメージ。エネルギーを内に秘めています。」

広報：「今年の作品のテーマはどうして仁王さまなのですか？」



鍋島 弘義さん

鍋島：「若い頃から仏像や道祖神に関心があり、一度は自分でも作ってみたい、との思いがありました。真っ赤に燃え盛る光背が作りたくて、この不動明王になりました。」

・・・来年度は、可愛い道祖神がいいかな？」

# 陶陶さん

第 86 号

あかほし



徳植美和恵さん器絵柄

## 2月役員会の報告

2月27日(土) 副会長・各役員 11名参加のもと役員会を行いました。  
 ★下記3部から報告がありました。

- 事業部 作品展の報告
- 専修部 焼成会のご案内(5月)  
(別紙チラシがあります。)
- 広報部 年3回の発行

## 次回役員会のお知らせ

4月16日(土) 午後6時30分より  
 杉田地区センター集会所  
 (内容は28年度総会に向けての準備です。)

## 総会のお知らせ

5月14日(土) 午後4時より  
 杉田地区センター集会所  
 (京浜急行杉田下車又は JR新杉田下車)  
 各行事において会員皆様のご要望等伺える良い機会かとおもわれます。より良い本会の活動に向けて役員一同頑張つてまいりますので是非皆様のお考えをお伺いいたしくお待ちしております。

## 「私の一品」に投稿ください

お気に入りの自作品写真に短いコメントを付けてお送りください。  
 只今、お預かりしている原稿も2枚程ありますが、広報紙面が空き次第、掲載します。  
 投稿方法は、信岡宛 電子メール・郵送 どちらでも構いません。

住所は会員住所録を見てください。

## 編集後記

今号の編集作業は編集部員がそれぞれ入力したパソコンを持ち寄り校正と紙面のエディトリアルをパソコンの操作を教わりながら行いました。編集部員の技量を揃えるためです。少しは戦力になりますか： 吉良

作品展の「ちよつと気になる作品の作者インタビュー」では思い切った紙面デザインを試みました。如何でしょうか。信岡

「私の一品の投稿」は広報部からお願いに当たることありますが、会員みなさま方の積極的な投稿をお待ちしています。 小松

ホームページもチェック!!

横浜陶芸友の会

検索

<http://www20.atpages.jp/tomonokai/>

横浜陶芸友の会だより  
第164号

(平成28年4月1日発行)  
発行人 横浜陶芸友の会